



### 金融機関も注目!? 個人投資家の手作りイベント「インデックス投資ナイト」とは？

インデックス投資ブロガー 水瀬 ケンイチ

2013年1月12日、東京お台場で「第5回インデックス投資ナイト」が開催されました。

「インデックス投資ナイト」とはなにか？えっ聞いたことがない？無理ありません。なにせ個人投資家有志による手作りイベントなので。第1回は2009年1月10日、第2回は2010年1月9日、第3回は2011年1月10日、第4回は2012年1月7日に開催されています。

「インデックス投資」というマイナーなテーマで、しかも素人が運営する有料イベントに観客が集まるのか？と思われるかもしれませんが、毎回満員御礼で、回を重ねるごとにチケットが完売するまでの期間も短くなり、ついに今回はチケット発売当日にわずか数時間で完売してしまいました。

実際、その「第5回インデックス投資ナイト」で何が行われたのかについてご紹介します。

まず、インデックス投資ナイトの開催に先立ち、「投信ブロガーが選ぶ！Fund of the year 2012 授賞式」が行われました。

これも、個人投資家により運営されている投資信託アワードです。証券会社の宣伝やうたい文句にまどわされず、自分たちにとって本当によいと思える投資信託・ETFを、投信ブロガーたちが投票で選び、それを広めることで「自分たちの手でよりよい投資環境を作っていこう！」という主旨のものです。



投資信託についてブログを書いている「投信ブロガー」数十名が、所定のルールに従い予め投資信託・ETFに投票を行っていました。「投信ブロガーが選ぶ！Fund of the Year 2012」の栄冠に輝いたのは、『バンガード・トータル・ワールド・ストックETF (VT)』(The Vanguard Group 運用)。これ



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

1本で新興国も含めた全世界の株式に分散投資できる上、低コストであることが評価されたようです。

会場では、第1位から10位までが発表され、いずれも既存の投信アワードとはひと味もふた味も違うファンドが選ばれていました。第1位を獲得したファンドの運用会社代表が受賞挨拶で、「これこそ皆さん投資家の直接のご意見でいただける賞ということで、他にこのような賞は無いと思います」と述べていたとおり、個人投資家が選ぶアワードならではのラインナップが選ばれていました。

続いて、インデックス投資ナイト第1部、「I-1 グランプリ 2013 お台場大会」が行なわれました。

これは、今回からの新企画で、個人投資家によるプレゼンバトル大会です。テーマは自由、5分間で思う存分プレゼンしてもらうというものです。カンファレンスやフォーラムなどで行われる短いプレゼンテーション「ライトニングトーク」のインデックス投資版とでも言うべきものでしょうか。

参加者はいずれも個人投資家の4名。それぞれ、

「インデックス投資ナイトを知って個人投資家になった僕」（河原あず氏）

「‘えーえすけー’の(積立て投資じゃない)ほったらかし投資術」（ASK氏）

「スウェーデン投資について」（タカちゃん氏）

「投資なんて退屈でいいんです。人生面白ければ」（吊られた男氏）

というテーマである人は真面目に、ある人は勢いよく、ある人は面白おかしくプレゼンを行ない、会場は大いに盛り上がりました。これにより、会場のボルテージが一気に高まりました。

そして、インデックス投資ナイト第2部メイン企画、「座談会 ファンドマネージャーがホンネで語る運用業界」が行われました。

これは、現役ファンドマネージャーおよびファンドマネージャー経験者たちが登壇し、個人投資家はなかなかうかがい知ることのできない運用業界の実情についてあけすけに語ってもらうというちょっと冒険的な企画でした。登壇者は以下の5名です。

- ・新井和宏氏（鎌倉投信 取締役資産運用部長）
  - ・内藤忍氏（資産デザイン研究所代表取締役）
  - ・丸山隆志氏（日興アセットマネジメント 株式運用部長兼オルタナティブ運用部長）
  - ・山崎元氏（経済評論家・楽天証券経済研究所客員研究員）
- 司会：カン・チュンド氏（晋陽FPオフィス代表）



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

このイベント会場は、登壇者も観客も、お酒を飲んだり食事をしたりしながら、のびのびとやるという面白い趣向であり、登壇者も最初にやることは壇上からのお酒の注文です。アルコールの力もあってか、登壇者たちからホンネがドンドン出てきます。

「ファンドマネージャーってどんな仕事ですか？」

「自分が稼いでくるっていうよりは、ポートフォリオが勝手に稼いでくれるわけですから、上手いかな、いかな〜と祈る」

「インデックスファンドのファンドマネージャーってやることあるんですか？」

「キャッシュインフロー、アウトフローが毎日あるので、速やかにフルインベストメントしなければならない。もしくは解約が来た時に速やかに現金化する」

「じゃあアクティブファンドは暇なの？」

といった具合に、冗談とホンネが入り混じり、大いに盛り上がりました。

他にも、「インデックスとアクティブではどちらの運用が大変か」「ベンチマークを超えるのは簡単か？難しいか？」「ファンドマネージャーは会社では何によって評価されるのか」「資金流入と運用成績の関係はあるのか」といった投資家からの素朴な疑問に、登壇者たちが次々に答えていました。個人投資家の知らない運用業界の世界が垣間見えたのではないのでしょうか。

また、会場の大型スクリーンには、ツイッター画面が映し出されていて、会場の内外から公式ハッシュタグ付きのツイートがリアルタイムで表示されます。これが、「山崎さんが攻めすぎる件」とか「登壇者のお酒が空いてるぞ！注文してやれ」などと、会場の盛り上がりにも花を添えていました。（なかには米国ボストンからのツイートも！）

後半では、運用業界が抱える問題点として、「投資信託市場がずっと伸び悩んでいる原因」について、運用業界内部からの熱い議論が交わされました。

日本経済のデフレ、販売会社の回転売買戦略、新規顧客の獲得不振、投資家の勉強不足、証券税制など、課題はたくさんあるようです。運用会社にできること、販売会社にできること、それから私たち個人投資家にできることがそれぞれあるように思われました。

最後に、各ファンドマネージャーから、ひとことずつ個人投資家へのアドバイスがあり、質疑応答の後、閉会しました。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

もし、イベントの様子の詳細を知りたいという方がいらっしゃったら、「第5回インデックス投資ナイト」という検索ワードでネット検索してみてください。イベントに全国から集まったブロガーたちが思い思いの体験レポートをアップしてくれています。なかには、かなり詳細な実況レポートや分析レポートもアップされています。



このイベントは、実行委員も有志の個人投資家たちによって運営されています。また、スポンサーなしで企画されています。だからこそ、金融業界のしがらみとは無縁の自由な企画ができることが売りでもあります。当日は金融機関の方々も多数来場されており、少しずつ注目を集めるようになってきています。イベントのことはロイター通信でも報道されました。

この個人投資家の手作りイベント、次回の企画はこれからですが、ご興味を持たれた方は、次回の「インデックス投資ナイト」にご注目あれ。

編集より:「投信ブロガーが選ぶ! Fund of the Year 2012」受賞ファンドは下記のサイトでご覧いただけます

<http://www.fundoftheyear.jp/2012/>